

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所主催フィールド言語学ワークショップ
テクニカル・ワークショップ

Lecture on Corpus building in lesser-described languages, with specific focus on referential strategies research across diverse languages

講演：研究未開発言語のコーパス構築：多様な言語間に見られる対象指示方略の研究への適用を中心に

開催のお知らせ・募集要項

フィールドワークで採取した一次言語データ（録音・映像など）を学術・教育・現地への成果還元などの目的で利用するためには、翻訳・文法情報など、目的に応じたアノテーションを付与したコーパスの構築が欠かせません。今回のワークショップでは、オーストラリアで進行中の言語学プロジェクト CoEDL (ARC Center of Excellence for the Dynamics of Language)で少数言語・方言などの研究未開発言語のコーパス構築と、それに基づく数量的類型論研究を行っている Stefan Schnell 博士（メルボルン大学）を迎え、少数言語・方言のコーパス構築とその類型論的研究への利用、特に言語間で異なる対象指示の方法 (referential strategy)の研究のため博士が用いている具体的な手法についてお話しいたします。上記のテーマにご関心をお持ちの方のご参加をお待ちしております。



記

1. 開催日時：2016年7月6日（水）14:30～15:30
2. 開催場所：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA研）
マルチメディア会議室（3F・304）
3. 講師：Stefan Schnell 博士（メルボルン大学、CoEDL プロジェクトポスドク研究員）
4. 参加資格：言語学を専門とする学部学生・大学院生・研究者
5. 参加申込方法：次の情報を下記「7. 申込先」宛に電子メールでお寄せ下さい。
(1) 氏名（ふりがな） (2) 所属 (3) 連絡先メールアドレス
※件名は必ず、
テクニカル・ワークショップ「研究未開発言語コーパス構築」受講希望として下さい。
6. 申込締切：2016年7月4日（月）
7. 申込先：
「多言語・多文化共生に向けた循環型言語研究体制の構築（LingDy3）」事務局
lingdy-appl[at]tufs.ac.jp ([at]を@に変えて送信ください)
8. その他：
 - ・講義は英語で行います。通訳はありません。
 - ・参加は無料です。

※ご不明な点がございましたら、上記「7. 申込先」までご連絡ください。

※過去のテクニカル・ワークショップにつきましては、

<http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/training/fieldling-ws/data-pro-ws> をご覧ください。

以上